

山梨県立 考古博物館だより NO. 73

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

小・中学生の考古学研究 第9回 わたしたちの研究室

県内に在籍する小・中学生の考古学研究を募集・表彰し、応募作品のすべてを展示公開する「わたしたちの研究室」も今回で9回目となりました。

平成23年度は、個人研究部門小学校の部8点、中学校の部277点、団体研究部門に4点、計289点もの応募をいただき、総勢387人の児童・生徒・教職員の方々にご参加いただきました。

2月5日(日)に入賞された児童・生徒のみなさんや先生方、ご家族のみなさん、選定委員、博物館協議委員の方々ほか65名におよぶ多数の臨席のもと表彰式を開催しました。表彰の後、最優秀賞と優秀賞の受賞者が研究の内容を発表しました。

研究室に応募頂いた全作品289点は、2月7日(火)から3月4日(日)までの期間、当館で公開・展示を行いました。



写真：個人研究部門受賞者のみなさん



写真：団体研究部門受賞者のみなさん

「第9回わたしたちの研究室」入賞一覧

○ 個人研究部門（小学校の部）

最優秀賞（県教育委員長賞）

富士川町立増穂小学校 土橋 祐太

「おじいちゃんの畑を発掘調査」

中央市大鳥居にある祖父の畑から縄文時代の土器片や石器が見つかったことをきっかけとして、土器片が今からどのくらい前のものなのか、その土器はどのような形をしていたのか、山梨県内で発見された黒曜石はどこでとれたものなのかという疑問について、考古博物館や井戸尻考古館の見学や学芸員の方からの取材でわかったことをまとめました。また、本物の土器を参考に縄文土器を製作しました。



写真：表彰される土橋裕太さん



写真：土橋さんの製作した土器

優秀賞（県教育長賞）

甲府市立善誘館小学校 上原 千歌

「縄文人のくらし」

甲府市立池田小学校 長澤 穂樹

「金鉱石と産金の歴史」

努力賞（県考古学協会会長賞）

韮崎市立韮崎北東小学校 大柴 雅基

「釈迦堂遺跡博物館の土偶について

～調査と製作からみえてきたもの～

市川三郷町立市川小学校 長田 諒・蓮岡 凌・鈴木 詩琉

「山梨の古墳」

都留市立東桂小学校 飯山 舞優

「たて穴住居を作って縄文人の生活を考えよう！」

奨励賞（館長賞）

甲斐市立双葉西小学校 田中 凜

「双葉の窯跡」

都留市立東桂小学校 飯山 陽捺

「縄文ポシェット」

写真：個人研究小学校の部 優秀作品



○ 個人研究部門（中学校の部）

最優秀賞（県教育委員長賞）

都留市立都留第二中学校 上原 梨乃

「古代『都留郡』の謎」

「都留郡は相模国だったのか？」という疑問に対し、山梨県史や論文などの文献調査や専門家の方々からの取材、遺跡や出土品の調査から研究を行いました。研究仮説を立て、都留郡の地形や生活、郷名、都留地域の遺跡から出土した遺物を調査しました。調査を進める中で、奈良時代の初め頃の都留地域の遺跡から出土した相模型土器や甲斐型土器の出土状況から、考えられる古代都留郡の社会の様子について専門家の先生方からお話を伺うことができたことは大変勉強になりました。調査研究を通して自分が住む地域の歴史についてくわしく調査することができました。

優秀賞（県教育長賞）

山梨英和中学校 小関 里歩

「縄文文様と熱効果の関係」

都留市立都留第二中学校 久保田 舞弥

「勝山城と小山田氏」

努力賞（県考古学協会会長賞）

都留市立都留第二中学校 藤本 愛梨

「都留郡の郷名」

奨励賞（館長賞）

甲府市立北西中学校

安部 成美

「縄文土器」

写真：研究成果を発表する上原さん



○ 団体研究部門

最優秀賞（県教育委員長賞）

富士川町立増穂小学校

「太鼓堂のひみつをさぐろう！」

同校では、これまで25年間に渡り「地域の歴史」を地域の方や保護者とともに学習し、発表会を行ってきました。今年度の研究成果は3年生が行った「太鼓堂のひみつをさぐろう！」というテーマのもと、今に残る藤村式建築の太鼓堂について「学校」をキーワードとして調べ学習に取り組みました。



写真：研究成果を発表する増穂小学校のみなさん

それぞれ「建物」「勉強」「生活」「遊び」の4つのテーマ、グループに分かれて資料調査や取材活動、フィールド学習を進めました。長きにわたる積み重ねと内容の濃さに、審査員の先生方も驚いていました。

努力賞（山梨県考古学協会会長賞）

甲府市立北西中学校

「社会科夏休み課題レポート」

奨励賞（館長賞）

駿台甲府中学校

「縄文土器作りに挑戦」



写真：団体研究部門最優秀賞展示の様子

第29回特別展 縄文土器名宝展 ～縄文芸術の到達点～



写真：特別展には多くの方にご来館いただきました。

平成23年9月28日(水)から11月23日(水・祝)まで、第29回特別展「縄文土器名宝展～縄文芸術の到達点～」を開催しました。

今から1万3千年前にはじまり、約1万年間続いた縄文時代。特に5,000年前の縄文時代中期は、東日本を中心に縄文文化が最も花開いた時期です。新潟県長岡市の馬高遺跡から出土した火焰型土器や福島県磐梯町の法正尻遺跡出土の縄文土器、一方本県甲州市の殿林遺跡や笛吹市一の沢遺跡の縄文土器など、国の重要文化財50点を含む100点の縄文土器を一堂に展示し、縄文芸術の競演となりました。

写真：華麗な縄文土器の数々が展示されました。
左：一の沢遺跡 / 中：殿林遺跡 (以上重文) / 右：安道寺遺跡



冬季企画展

「甲州市内の出土品 国史跡 勝沼氏館跡の発掘調査」

◆会期：平成23年12月10日(土)～平成24年1月29日(日)

甲州市勝沼にある「勝沼氏館跡」は、武田信玄の父信虎の弟信元一族の居館と伝えられ、国の史跡にも指定されています。発掘調査で出土した豪華な資料から、武田一族の栄華を感じることができました。



写真：冬季企画展ポスター

「新年干支展」

◆会期：1月2日(月)～1月29日(日)

平成24年は辰年。考古博物館では本年度の干支「辰」にちなんだ考古資料約30点をエントランスホールに展示しました。展示資料は今から1,500年ほど前の竜の描かれた青銅鏡(笛吹市亀甲塚古墳出土)などで、訪れた方々は意外と古い人と竜の関心に驚いていました。



写真：辰にまつわる資料

風土記の丘望見展

「日本人がはじめて見た黄金の輝き ～弥生時代の青銅器～」

◆会期：2月1日(水)～3月20日(火・祝)

体験研修施設である風土記の丘研修センターで開催。今から2,300年前の弥生時代に初めて日本人が目にしたであろう青銅器に焦点を当て、風土記の丘研修センターが行ってきた青銅器の復元実験のようすや成果を紹介しました。



写真：復元実験で製作された銅鐃

富士山の日関連イベント「富士山ミニ展示」

◆会期：2月15日(水)～2月29日(水)

本年度より山梨県では2月23日は富士山の日に制定されました。それに協賛して考古博物館エントランスホールにて、平成21年度より3カ年計画で行われた「山梨県山岳信仰分布調査」成果より、富士山発掘調査関連出土遺物約30点を展示しました。



写真：展示のようす

「第9回 私たちの研究室展示会」

◆会期：2月7日(火)～3月4日(日)

第9回「わたしたちの研究室」に寄せられた小中学生の考古学や歴史研究成果289点を一堂に公開。地元に着意した題材を丹念に調べたり、縄文時代の土器やカゴを復元するなど、いずれも力作が揃いました。



写真：すばらしい研究の数々

「山梨の遺跡展2012」

◆会期：3月10日(土)～4月8日(日)

本年度県埋蔵文化財センターや県内市町村教育委員会が行った最新発掘調査のうち、注目度の高い遺跡の写真や出土遺物を通して紹介しています。主催は県埋蔵文化財センター。



写真：山梨の遺跡展2012ポスター

聞いて深める歴史

～講演会～

○特別講演会

事前講座「縄文土器名宝展のみどころ」

◆日時：9月4日(日)

◆講師：当館学芸課長 保坂康夫

第29回特別展「縄文土器名宝展～縄文芸術の到達点～」では、山梨県をはじめとする関東甲信越～東北部に花開いた縄文文化や展示の意図について学芸員が解説しました。

「岡本太郎が発見した縄文芸術」

◆日時：10月9日(日)

◆講師：県立美術館学芸員 春原史寛氏

縄文土器の造形を初めて芸術としてとらえ、発信した岡本太郎。こうした岡本太郎の世界観は美術史界のみでなく、考古学界にも大きな衝撃を与えました。岡本太郎の縄文文化に対する世界観をご講演いただきました。

○ミニ講演会

「国史跡勝沼氏館跡の発掘調査成果」

◆日時：平成24年1月22日(日)

◆講師：甲州市教育委員会 入江俊行氏

昭和48年から発掘調査が開始された国指定史跡である勝沼氏館跡。勝沼氏の政治・生活の場であった内郭と職人集団が活動した外郭の発掘調査を通してわかった勝沼氏の姿を解説いただきました。

「縄文土器の造形から読む縄文人の心」

◆日時：10月30日(日)

◆講師：國學院大學教授

谷口康浩氏

縄文土器の形や土器に描かれた文様は、縄文人の思考と深く関わっているのではないかと。縄文土器を通してわかった最新の研究成果をご説明いただきました。



写真：谷口康浩氏講演会のようす

「縄文文様を分解する」

◆日時：11月13日(日)

◆講師：県埋蔵文化財センター副主幹・文化財主事 今福利恵氏

縄文土器の形や土器に描かれた文様は、縄文人の思考と深く関わっているのではないかと。縄文土器を通してわかった最新の研究成果をご説明いただきました。



写真左：講演する入江俊行氏
写真右：講演会のようす

「お持ち帰り」できる展示

～チャレンジ博物館・原始古代の技に学ぶ～

考古博物館の展示室で縄文土器の語りかける声に耳を傾け、巨大な銚子塚古墳で古代の王の権力に思いを馳せたら、風土記の丘研修センターにおいでください。小中学生向けの「チャレンジ博物館」、高校生以上の一般の方向けの「原始古代の技に学ぶ」で、さまざまな古代体験をすることができます。

恒例の縄文土器作りや青銅鏡作り、縄文時代のアクセサリ作りやミニ埴輪作りなど、考古博物館の展示をそのまま「お持ち帰り」できるメニューを取りそろえております。平成23年度下半期も多くの皆様にご参加いただきました。来年度も魅力的なイベントを企画しておりますので、ぜひ足をお運びください。

○原始古代の技に学ぶ○

- 10/15 勾玉とガラス小玉作り
- 10/29、11/5 トンボ玉作り
- 11/19 草木染め
- 12/3、11 青銅器作り
- 2/4、11、25 縄文土器作り
- 3/17、25 青銅器作り



草木染め
『延喜式』にある「深緑」の染色方法を再現しました。



トンボ玉作り
棒ガラスをバーナーで溶かし、ステンレス棒に巻き取って作ります。

楽しみながら知る歴史

～イベント～

○考古博物館の日イベント

●縄文王国山梨巡回イベント

(10月22日土曜日)

山梨県内の7館で構成する縄文王国山梨が行った体験イベントです。狩猟体験や拓本体験など、多くの方々に縄文時代に親しんで頂きました。



写真：縄文王国山梨巡回イベントの様子

●考古博物館でお宝発見！

(1月28日土曜日)

考古博物館の常設展示室はもちろん、普段は入ることのできない収蔵庫を見学したり、本物の縄文土器に触ったりしました。



写真：収蔵庫での見学の様子

●考古博物館冬まつり (2月25日土曜日)

考古博物館の冬の最大のイベント。今回は初めて「藍染めでエコバッグ作り」体験や、「かわいい土偶づくり」体験など、盛りだくさんの内容で行いました。当日はとりもっちゃんも登場し、多くの方々に来館いただきました。



写真：冬まつりにはとりもっちゃんも登場

○古代のもちつき

(1月2・3日月・火曜日)

弥生時代に使われたものを復元した臼と竝杵で古代米などを混ぜたおもちをつきました。



写真：竝杵でもちつき

○甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園のイベント

共催：富士観光開発・富士グリーンテックグループ

風土記の丘に親んでもらうため、さまざまな催しものを行いました。

●秋のふれあい祭り

10月16日(日曜日)

●落ち葉で、焼きいも!!

11月23日(水曜日祝日)



写真：落ち葉で焼きいもの様子

○チャレンジ博物館○

- 10/2 縄文土器をつくろう
- 10/23 縄文人のごちそう
どんぐりを味わってみよう
- 11/6 ユニークな土偶をつくろう
- 12/4、18 古代の青銅鏡をつくろう
- 1/8 干支の土鈴をつくろう
- 2/5 古墳時代の埴輪をつくろう



縄文土器作り
本物の縄文土器をモデルに作成し、当時の技術や知恵を学びました。



古墳時代のはにわづくり
甲斐銚子塚古墳出土の「円筒はにわ」を縮小して作成しました。

○平成24年度の予告○

チャレンジ博物館では、「甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園」の森の恵みを生かしたイベントを開催予定。大人気の「縄文土器をつくろう」も夏休みに開催します！本物の土器を目の前にして作れる数少ないチャンス！縄文人の気分になって作ってみませんか。

また、原始古代の技に学ぶでは、「青銅」を溶かして鋳込み、自分の手で研磨し仕上げる「青銅器作り」を継続開催！日本人がはじめて目にした金属(青銅)の輝きを目にしてみませんか。博物館に展示されている青銅器を見る目も変わるかもしれません。



このほか、10月と11月には特別展「インカ帝国展」の関連イベントを開催予定！各イベントの詳細や参加方法は、ホームページ等でご確認ください。

平成23年度考古博物館事業参加者統計

開催日	内 容	参加者
●原始古代の技に学ぶ(大人のものづくり教室)		
4/23	勾玉作り	4
5/14・22	青銅器作り	12
6/4・11・25	縄文土器作り	26
7/9	トンボ玉作り	5
8/13	草木染め	15
9/3・11	青銅器作り	8
10/15	勾玉作り	4
10/29	トンボ玉作り	5
11/5	トンボ玉作り	6
11/19	草木染め	11
12/3・11	青銅器作り	9
1/14	勾玉作り	0
1/21・22	草木染め	12
2/4・11・25	縄文土器作り	36
3/17・25	青銅器作り(3/22 現在)	8
●チャレンジ博物館(小・中学生親子ものづくり教室)		
5/15	弥生時代の矢じりをつくろう	19
6/19	縄文時代の布を編んでみよう	9
7/3	縄文時代のかごをつくろう	19
7/17・24・8/7	縄文土器をつくろう	66
8/21	縄文時代のアクセサリをつくろう	27
10/2	縄文土器を作ろう	19
10/23	縄文人のごちそうドングリを味わってみよう	10
11/6	ユニークな土偶をつくろう	12
12/4・18	古代の青銅鏡をつくろう	13
1/8	干支の土鈴をつくろう	23
2/5	古墳時代のはにわをつくろう	13
●史跡文化財セミナー		
4/17	於曾屋敷と武田ゆかりの寺院 甲州市教育委員会 飯島泉氏	25
6/12	天狗沢瓦窯跡と往生塚古墳 甲斐市教育委員会 大嘉正之氏	27
7/31	河口浅間神社と周辺の文化財 富士河口湖町教育委員会 杉本悠樹氏	37
10/23	甲斐風土記の丘の古墳群	21
●考古学講座		
6/5	「お鍋とお釜の考古学」 帝京大学山梨文化財研究所 櫛原功一氏	39
6/26	「生ゴミの考古学」 県立博物館 植月学氏	48
7/17	「縄文土器の作り方」 北杜市教育委員会 村松佳幸氏	40
8/7	「大陸から伝わった器」 考古博物館 石神孝子氏	49
●ミニ講演会		
1/22	「国史跡勝沼氏館跡の発掘調査成果」 甲州市教育委員会 入江俊行氏	34
●特別展開連		
9/4	事前講座「縄文土器名宝展のみどころ」	44

開催日	内 容	参加者
10/9	「岡本太郎が発見した縄文芸術」 県立美術館 春原史寛氏	51
10/30	「縄文土器の造形から読む縄文人の心」 國學院大学 谷口康浩氏	61
11/13	「縄文文様を分解する」 県埋蔵文化財センター 今福恵氏	81
●イベント		
5/3・4	風土記の丘こどもまつり	4,372
7/18	夏休み自由研究プロジェクト(於アイメッセ山梨)	60
7/10～8/31	夏休みフリーパスポート入館	1,085
	土器の拓本カードを作ろう	302
	トンボ玉作り	94
	勾玉作り	220
	青銅鏡作り	19
銅鐸作り	14	
古代の火起こしにチャレンジしよう	15	
8/7・8/21・11/12・12/23・1/21・1/19・2/11	縄文王国関連イベント	428
10/16	秋のふれあい祭り	1,508
11/3	縄文土器で煮てみよう!	57
11/20	県民の日イベント	44
	甲府城イベント	1,644
11/23	落ち葉で、焼きいも!!	120
1/2・3	古代のもちつき・破魔矢作り・稲作クイズ	147
2/5	第9回わたしたちの研究室 表彰式・研究発表会	65
●考古博物館の日		
4/23	古代衣装を着てみよう	12
5/28	土器で煮てみよう!炊いてみよう!	50
6/25	土器カードをつくろう	4
7/30	考古博物館まるごと探検隊!	43
10/22	縄文王国山梨巡回イベント	108
1/28	考古博物館でお宝発見!	17
2/25	考古博物館冬まつり	134
●体験学習(教育普及活動・一般・2月末現在) ※ イベントをのぞく		
古代の火起こし		6,638
勾玉づくり		2,595
古代の編み物(あんぎん)体験		0
縄文の土鈴づくり		92
青銅鏡		3
●入館者数		
常設展示(3/21 現在)		23,396
第29回特別展「縄文土器名宝展」		6,773
春季企画展「古代の台所」		7,463
夏季企画展「大陸から伝わった器」		4,603
冬季企画展「甲州市内の出土品」		1,094
新年干支展		580
第9回わたしたちの研究室		887
風土記の丘望見展		362
山梨の遺跡展 2012(埋蔵文化財センター主催・3/21 現在)		380

●学校などの来館状況 ～154校の学校等が来館しました～

◎山梨県内

小学校	中北(39)	甲州市立千代田小(6)、石田小(6)、池田小(6)、善誘館小(6)、大里小(6)、里垣小(6)、大國小(6)、貢川小(6)、玉諸小(6)、湯田小(6)、伊勢小(6)、東小(6)、南アルプス市立若草小(6)、南湖小(6)、白根源小(5)、八田小(6)、櫛形中(2)、白根巨摩中(2)、八田中(2)、若草中(2)、甲斐市立竜工南小(5)、敷島小(6)、双葉東小(6)、敷島北小(6)、中央市立玉穂南小(6)、田富南小(6)、田富小(6)、豊富小(6)、三村小(6)、昭和町立押原小(6)、常永小(6)、韭崎市立北東小(6)、北杜市立高根東小(6)、泉小(6)、長坂小(6)、小泉小(5)、明野小(6)、武川小(6)、高根中(2)
中学校	峡東(7)	山梨市立牧丘第一小(3)、三富小(5-6) 甲州市立東雲小(1・2)、大和(6)、笛吹市立石和北小(6)
	峡南(10)	市川三郷町立大塚小(6)、上野小(6)、市川小(6)、富士川町立鯉沢小(6)、鯉沢中(2)、久那土中(2)、早川町立早川中(2) 身延町下山小(6)、下部小(6)、原小(6)
	富士・東部(11)	都留市立都留第二中(2)、忍野村立忍野小(6)、富士河口湖町立河口小(6)、大嵐小(6)、勝山小(6)、船津小(6)、小立小(6)、西浜小(6)、大石小(6)、大月市立大月西小(3,4)
	私立(3)	山梨学院大学附属小(3) [甲府市]、駿台甲府中(1) [甲府市]、山梨学院大学附属中(1) [甲府市]
高等学校	(4)	中央高等学校(4)、韭崎高校定時制、笛吹高等学校(2) 青森山田高等学校山梨校
特別支援学校	(3)	ろう(小学部)6)、あけぼの支援学校(1,2)、甲府支援学校
その他	(3)	山梨大学附属小(6)、甲府あすなろ学級、ブラジル学校(1)

◎山梨県外

小学校	東京都(71)	中央区立泰明小(6)、月島第一小(6)、日本橋小(6)、明石小(6)、中央小(6)、月島第二小(6)、阪本小(6)、京橋築地小(6)、久松小(6)、月島第三小(6)、荒川区立第二峡田小(5)、ひぐらし小(5)、第一日暮里小(5)、第二峡田小(4・5)、尾久宮前小(5)、三鷹市立羽沢小(6)、大沢台小(6)、南千住第二中(1)、第七中(1)、第一中(1)、第九中(1)、第五中(1)、尾久八幡中(1)、青梅市立第六小(6)、吹上小(6)、新町小(6)、府中市立第四小(6)、若松小(5)、南町小(5)、第一小(5)、第二小(5)、武蔵野台小(5)、第十小(5)、昭島市立武蔵野小(5)、小金井市立第四小(6)、本町小(6)、緑小(6)、南小(6)、第一小(6)、第二小(6)、緑小(5)、小平市立第一小(6)、第六小(6)、第九小(6)、第四小(6)、第二小(6)、第十一小(6)、第三小(6)、第十五小(6)、第十三小(6)、第十四小(6)、第十二小(6)、学園東小(6)、花小金井小(6)、第五小(6)、鈴木小(6)、上宿小(6)、第十小(6)、多摩市立東寺方小(6)、永山小(6)、聖ヶ丘小(6)、東愛宕小(6)、北調訪小(6)、第一小(6)、南鶴牧小(6)、調訪小(6)、第三小(6)、新宿区立落合第5小(6)、私立武蔵野東中(1) [小金井市]、高輪中(2) [港区]
中学校	埼玉県(1)	戸田市立戸田南小(6)
	静岡県(1)	富士宮市立大富士小(6)
高等学校	(1)	開成高(1) [荒川区]

※()内は来館した学年を示す ※市区町村名以降は当館来館順に記載

※ 中学校の教育課程に基づく「一人歩き」や「班別行動」などの一部生徒の来館を含む

●古代衣装貸し出し状況

県外(3)	赤穂高(長野県)、伊勢崎市教育委員会(群馬県)、府中市教育委員会(東京都)
県内(4)	忍野小、塩山北小、英和中・高校、富士見会

山梨県立考古博物館 平成24年度イベント予定一覧(2012.3)

月	企画・特別展	ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (高校生以上・一般)	ものづくり教室 ～チャレンジ博物館～ (小中学生親子)	講演会・セミナー	祭り・その他
4	3/10～4/8 山梨の遺跡展 2012 4/28～7/1	14 トンボ玉作り		22 第 52 回史跡文化財セミナー 「国宝清白寺から窪八幡神社」	※考古博物館の日は月の第4(3)土曜日(○の日) その日には、普段は触ることのできない本物の 土器や石器などに触ることができます。 ⑳考古博物館の日 古代衣装を着よう!土器の拓本をとろう!
5	春季企画展 『躍動の5世紀 ～古墳時代中期の山梨～』	13・19 青銅器作り	20 弥生時代の矢じりをつくろう		4・5 第 24 回 風土記の丘こどもまつり ㉑考古博物館の日 古代米を炊いてみよう!
6		2・9・23 縄文土器作り	17 縄文時代の布を編んでみよう	10 第 1 回考古学講座 17 第 53 回史跡文化財セミナー 「中央市小井川遺跡と周辺の文化財」	㉒考古博物館の日 狩猟体験をしよう!石器で切ってみよう!
7	7/21～8/31 夏季企画展 『土偶のねがい』	7 草木染め	1 縄文時代のかごをつくろう 15・22・8/5 縄文土器をつくろう	1 第 2 回考古学講座 22 第 3 回考古学講座	16～8/31 夏休みフリーパスポートイベント ㉓考古博物館の日 土偶にさわろう!土偶を作ろう!
8		4 トンボ玉作り	19 土偶をつくろう	5 第 54 回史跡文化財セミナー 「大月市子の神古墳と周辺の文化財」 19 第 4 回考古学講座	
9	9/18～11/14 第 30 回特別展 『インカ帝国展 ～マチュピチュ「発見」100年～』	1・9 青銅器作り	23 縄文時代のアクセサリをつくろう	特別展事前講座《未定》	1～11/30 第 10 回わたしたちの研究室 研究成果募集(小中学生対象)
10		13 草木染め	7 縄文土器をつくろう 28 森の木の実で染めてみよう	特別講演会①《未定》 21 第 55 回史跡文化財セミナー 「甲斐銚子塚から右左口宿」 特別講演会②《未定》	↑ インカ帝国展関連イベント期間 (9/18～11/14)
11		4 草木染め	11 インカ帝国展関連企画		↓ 20 県民の日イベント 縄文土器の拓本をとろう!ぬりえをぬろう!
12	12/8～1/27 『甲州市内の出土品』 冬季企画展	8 勾玉作り	2 干支の土鈴をつくろう		
1	1/2～1/27 新年 干支展	26・27 草木染め	13 縄文時代のアクセサリを作ろう	22 第 5 回考古学講座	2・3 古代のもちつき ㉔考古博物館の日 考古博物館でお宝発見!
2	2/5～3/3 『わたしたちの 研究室展示会 第 10 回』	2・9・23 縄文土器作り	10 古墳時代のはにわをつくろう		3 第 10 回わたしたちの研究室 表彰式・発表会 ㉕考古博物館の日 考古博物館冬まつり
3	山梨の遺跡展 2013 3/9～4/7	16・24 青銅器作り		24 第 56 回史跡文化財セミナー 「加牟塚、穴塚周辺の古墳群」	

※ 特別展の準備及び撤去作業のため、9月11日～9月17日まで、11月15日～11月18日まで臨時休館となります。また、12月19日～25日は館内整備のため休館休館し、平成25年1月16日～21日は開館します。他の臨時休館日と臨時開館日については、考古博物館ホームページなどでご確認ください。

※ この他、職場体験(中学・高校生、随時)受け入れや記載以外のイベント(不定期)などを行います。

※ 開催日及び内容を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。

※ ものづくり教室や講座などのお申し込みが必要なイベントは、開催日の1か月前から募集を開始します。

平成 24 年度春季企画展
躍動の5世紀
～古墳時代中期の山梨～

今から1,500年前の古墳時代中頃は、日本全国で新たな社会変革が進んだ時代です。甲府盆地でもそれまで曾根丘陵の東山一帯に作られていた古墳が、新興勢力によって古墳の大きさは小さくなるものの甲府盆地の広い範囲に作られるようになり、甲冑や馬具など新たな文化が登場します。山梨県の5世紀がどのような時代だったのか。謎に迫ります。

◆会 期：平成24年4月28日(土)～7月1日(日)

◆場 所：考古博物館特別展示室

◆観覧料：無 料



写真：県内最古の馬具（かんかん塚（茶塚）古墳出土 / 甲府市）

**ボランティアガイドを
ご利用ください**

考古博物館では、展示資料を通じて山梨県の歴史により親しんでいただくため、考古博物館協力員による常設展示・企画展示の解説（ボランティアガイド）を行っています。

当館学芸員より専門講習を受けた協力員8名が、土日祝日などを中心に交代で展示解説をわかりやすくおこなっていますので、解説をご希望の方は受付へお申し出ください。

なお解説日は不定期ですので、考古博物館へ直接お問い合わせいただくか、ホームページ等でご確認ください。



写真：特別展をガイドするようす。「わかりやすい」と好評です。

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
 ただし、入館は午後4時30分まで
 休 館 日 毎週月曜日（祝祭日・振替休日を除く）
 祝日の翌日（日曜日・祝日を除く）
 12月29日～1月1日

※次の場合観覧料が免除になります

- ・65才以上の方（ただし、特別展は県外の方を除く）
- ・障害者手帳をお持ちの方
- ・毎週土曜日の小・中学生、高校生
- ・県民の日（11月20日）
- ・県内の学校の教育課程での見学（下記参照）

県内の学校の利用と観覧料免除について

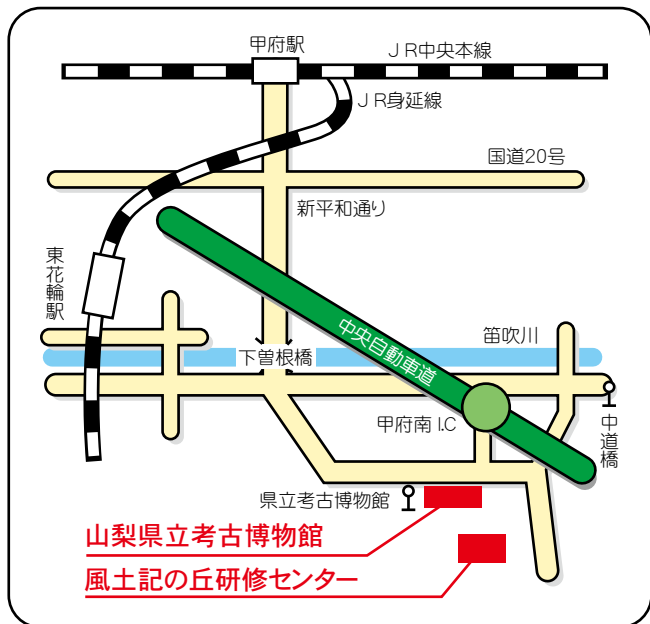
- ・教育課程（県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校）で入館される場合は観覧料が免除になります。
 - ・見学予定日の10日くらい前までに、観覧料免除申請書を提出してください。
 - ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
 - ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。
- 学校見学の申し込みと問い合わせ先
 055(266)5286 風土記の丘研修センター

交 通

- (1) 路線バスの利用
 - ・甲府駅より豊富行（中道橋経由）－「県立考古博物館」下車
 - ・甲府駅より市立甲府病院行－市立甲府病院で下車乗り換え・富士急和観光バス古閑町行－「風土記の丘農産物直売所」下車
- (2) 自家用車の利用
 - 中央自動車道甲府南インターチェンジ前

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休 館 日 毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日）
 12月29日から1月3日



平成 23 年度下半期の活動をお知らせする考古博物館だより 73 号をお届けしました。展示・イベント・講演会など、平成 23 年度も盛りだくさんの内容でした。平成 24 年度もみなさまに楽しんでいただけるような企画を多数準備しておりますので、ぜひご来館ください。(石)

発行日 平成 24 年 3 月 27 日
 発 行 山梨県立考古博物館
 住 所 〒 400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923
 電 話 055-266-3881
 印 刷 株式会社 峽南堂印刷所